

日本・スペイン航空関係の拡大について

～約20年ぶりに直行便が再開～ ～オープンスカイに合意・発効～

● イベリア航空(スペイン)が、マドリード＝成田線を約20年ぶりに再開

初便：2016年10月19日(成田着)

機材：エアバス330-200型機(288席)

便数：月・水・土(週3便) 成田 9:35着、11:20発

※同社は1998年11月まで、マドリード＝成田線を運航

● 成田空港の欧州線ネットワークが更に拡充

➤ マドリード線就航により、成田空港と直行便で結ばれる欧州内地点は14都市となり、ネットワークとして概成。

※アムステルダム、ブリュッセル、コペンハーゲン、デュッセルドルフ、フランクフルト、ヘルシンキ、ロンドン、ミラノ、パリ、ローマ、ウィーン、ワルシャワ、チューリッヒに次いで14番目

※成田空港の14都市は、仁川空港(12)、香港空港(11)、チャンギ空港(11)を上回る。

● スペインは訪日プロモーションの重点市場のひとつ

➤ スペインは、日本人旅行者にとって人気の目的地(2014年は年間約50万人が訪問)。

➤ 一方、訪日スペイン人は2015年で年間8万人弱。但し、2015年の対前年伸率は年28%と増加中。今秋の直行便就航により、インバウンド(訪日客)の一層の拡大に期待。

➤ スペインは、訪日プロモーションの重点市場として位置づけ。訪日スペイン人旅行者数の更なる増加のため、現地に日本政府観光局(JNTO)事務所を開設予定。

➤ 2016年3月30日に決定された「明日の日本を支える観光ビジョン」においても欧州・米国・豪州等をターゲットにしたプロモーションを実施することが記載されたところ。

● 日本・スペイン間のオープンスカイに合意

➤ 今般の航空取り決め合意・発効により、二国間の運航便数は無制限(オープンスカイ)となる。

➤ これにより、エアラインの自由な経営判断のもと、観光・ビジネス需要の伸びに対応した機動的な増便等を可能とする枠組みが実現。